

現代中国語動詞の時間的意味構造試論

木村恵介

1. はじめに

本稿は、現代中国語（北京語）の動詞を内的な時間構造から分類した先行研究を検討し、中国語動詞の意味構造を記述するための予備的考察を行うことを目的とする。そのために、金子(1995, 2003²⁾)の時間論理モデルを導入する。さらに「静態動詞」とでも呼べるような(類型的)意味を持った動詞群の意味構造を明らかにすることを目的とする。先行研究として、荒川(1981)、馬(1981)、郭(1993)、彭(2000)を概観する。

2. 荒川(1981)の動詞分類

荒川は二項対立する諸概念を用いて動詞を分類している。¹⁾ その諸概念とは「動作／状態」、「変化／静態」、「形態／移動」、「行為／結果」である。「変化／静態」の「変化」とは、よく日本語のアスペクト研究で用いられる「動作動詞／変化動詞」のそれではなく、起動相が表すような意味のことを指していると思われる。「静態動詞は静態を表わすのが主で、その静態に移る変化(過程)を積極的には表わさない」(p. 7)と言っていることから明らかだろう。

荒川は「静態動詞」の例として“坐, 躺, 站, 臥, 蹲”「座る、横になる、立つ、腹ばいになる、しゃがむ」を挙げている。これらや後述する彭(2000)を見ても分かるように、「静態動詞」には人(有生物、活動体)の姿勢や体勢を意味として表す語がほとんどのものである。逆に言うと、中国語では姿勢・体勢を「静態動詞」的な意味構造として言語化しているのかもしれない。

「静態動詞」と「状態動詞」の違いは、「静態動詞」が動量詞をとらなければ命令を表す文に使うことができるところにある。

(1) 你再坐一会儿吧。「もう少し腰を掛けていたら→もう少しゆっくりしていたら」

(2) 你躺一会儿歇歇吧。「しばらく横になって休んだら」

(荒川 1981: 7)

しかし、荒川によると、基本的に「静態動詞」は動作終結後(起動後)のその体勢が保持された状態(結果状態)を表す。動作(起動、荒川の言う「変化」)を表すためには、“站起来”「立ち上がる」、 “坐下(来)”「座る」、 “坐起来”「(寝た状態から座った状態へ)起き上がる」という形にしなければならない。

3. 馬(1981)の動詞分類

馬(1981)はある特定の環境における動詞を分類している。次のような三つの文型で使われたときに実現する意味の違いによって動詞を分類しているのである。

(3) C1: V+T 看三天「三日間見る」

 C2: V+了+T 看了三天「三日間見た」

¹⁾ 荒川の言うカテゴリとは「語彙的なものであつてかつ形態的・文法的なもの」とからみあつたもの」(p. 1)だが、本稿で言うカテゴリもほぼ同じ意味で用いる。

C3: V+(了)+T+了 看(了)三天了「三日間見た」(最初の“了”は随意)

(马 1981: 86)

まず、動作の結果の持続を表すアスペクト接尾辞“-着”が付くか否かで二つに分ける。“-着”が付き得ない動詞を「非持続性動詞 (Vaと表記)」と呼び、“-着”が付き得る動詞を「持続性動詞 (Vbと表記)」と呼ぶ。

Vaは(4)のように単独ではC1、C2で使えない。それに対し、Vbは(5)のように単独でC1、C2で使うことができる。

- (4)a. *死三天 「*三日間死ぬ」
- b. *他死了三天 「*彼は三日間死んだ」
- (5)a. (这本书) 看三天 「(この本は) 三日間読む」
- b. (这本书) 看了三天 「(この本は) 三日間読んだ」

(同: 86)

Vaは、(6, 7)のように単独でもC3では使うことができる。また、(8)-(11)のようにC1、C2が複文の従属節である場合にも使うことができる。そのときには、《動作が完了してからの経過時間》を表す。

- (6) 已经死了三天了 「死んでもう三日になる」
- (7) 手表已经丢了两天了 「腕時計をなくして三日になる」
- (8) 刚死一天就火化了 「死んで一日経っただけで埋葬した」
- (9) 手表丢两天又找着了 「腕時計をなくして二日してまた見つけた」
- (10) 刚死了一天就火化了 「死んで一日経っただけで埋葬した」
- (11) 手表丢了两天又找着了 「腕時計をなくして二日してまた見つけた」

(同: 87)

Vbをさらに二つに分ける。C3で用いたときに多義性を持たない型を「強い持続性動詞 (Vb1と表記)」、多義性を持つ型を「弱い持続性動詞 (Vb2と表記)」とする。

Vb2をC3で用いると、(12, 13)のように《動作開始からの経過時間》と《動作終了からの経過時間》という二つの意味を持ち得る。いっぽう、Vb1をC3で用いると、(14, 15)のように《動作・行為の持続時間》のみを表し、二つの意味を持ち得ない。

- (12) 吃了半个钟头了 「食べ (始め) て半時間になる / 食べ (終え) て半時間になる」
- (13) 扫了半个钟头了 「掃除をし (始め) て半時間になる / 掃除をし (始め) て半時間になる」
- (14) 等了三天了 「三日間待った」
- (15) 坐了半天了 「しばらく座っていた」

(同)

Vb2はさらに二つに分けられる。C1で用いられたときに、一義的に《動作・行為の持続》を表す類をVb21とする。また、C1で用いられたときに二義性を生じ、《動作・行為の持続》((18a,

19a) とともに《動作・行為がもたらした状態の持続》((18b, 19b))をも表す類をVb22とする。^{註2}

(16) 这本书看三天「この本は三日間読む」

(17) 我跟你說一会儿「君とちょっと話そう」

(18)a. 这么多肉，要腌三天才能腌完「こんなに多くの肉を塩漬け(し終え)るのに三日はかかる」

b. 腌三天就可以吃了「塩漬けして三日経ったら食べられる」

(19)a. 挂半天才挂上去「しばらく掛けてやっと掛かった」

b. 刚挂半天就摘下来了「しばらく掛けただけで外した」

(同: 88)

以上の分類をまとめてしめすと次のようになる。

(20) Va…… “死”類(「非持続性動詞」)

Vb: Vb1…… “等”類(「持続性動詞」「強い持続性動詞」)

Vb2: Vb21…… “看”類(「弱い持続性動詞」「一義的」)

Vb22…… “挂”類(「弱い持続性動詞」「二義的」)

Vaに属する語には、“死「死ぬ」，伤「負傷する」，断「断つ」，熄「消える」”など、「変化動詞」と言ったときに想起されるような意味を持った語が含まれる。また、“来「来る」，去「行く」”といった「移動動詞」や“看见「見える」，听见「聞こえる」”といった「動作+結果」型の複合動詞、“起来「起きる」，上来「上がってくる」”などの「方向動詞」を組み合わせた複合動詞が含まれる。^{註3}

Vb1に属する語には、“等「待つ」，盼「待ち望む」”といったどちらかという心理的な活動が主体の動作を意味する語、“坐「座る」，站「立つ」，躺「横になる」”などの人(有生物、活動体)の姿勢・体勢を表す語、“躲「逃げる」，避「避ける」，防「防ぐ」”といった消極的な動作を表す語、“擦「握る」，握「握る」，捂「手で覆う」”といった動作完成後の状態を保持することが主眼となる動作を示す語などがある。また、二音節の動詞も多く含まれ、“呼哧「ふうふう言う」，咕嘟「ぐらぐら言う」，嘟囔「ぶつぶつ言う」”といった「言い方」を示すような動詞もある。

Vb21に属する語には、“看「見る」，听「聞く」，说「話す」，学「学ぶ」”といったほとんどの行為動詞が含まれる。また、“敲「敲く」，碰「ぶつかる」，摔「投げ付ける」”といった対象に働きかけはするが対象の変化は含意していない「接触・打撃動詞」もこれに所属する。

Vb22には、“挂「掛ける」，摆「並べる」，搁「置く」”など対象の位置変化を表す動詞、“穿「着る」，戴「かぶる」，披「羽織る」”などの動作によって対象が主体に付着する「再帰的」な意味の動詞などが所属する。

この分類で、荒川の「静態動詞」に対応するような動詞はVb1に属する動詞の一部にある。馬によれば、これらの動詞は[-完了][+持続]という特徴を付与されている。[-完了]というのは、瞬間的に完了する動作を表さないということを示している。

^{註2} Vb21とVb22は“着”を伴ったときの振る舞いも異なる。前者は一義的で《動作・行為の持続》を表すのみであるが、後者は《動作・行為の持続》を表せるだけでなく、存現文の句型において《動作・行為のもたらした状態の持続》をも表すことができる。

^{註3} 馬(1981)で挙げられているその他の語例は、本文末尾に「付録A」として附してある。

4. 郭(1993)の動詞分類

郭(1993)では、動詞を、その意味構造が“起点”（起点、inception）、“終点”（終結点、finish）、“续段”（持続段階、duration）をもつか否かという基準によって、十個に分類している。

その分類基準を確かめるテストとして、次の六つをあげている。

- (21)a. 完了相の“-了”をとるか。とる場合、(i)動作がすでに始まっていることを表すか、(ii) 終了したことを表すか。→(i)なら起点あり。(ii)なら終結点あり。
- b. 後ろに時量詞句（時量目的語）をとるか。とる場合、(i)動作の持続時間を表すか、(ii) 動作終了後の経過時間を表すか。→(i)なら起点と持続段階あり。(ii)なら終結点あり。
- c. 持続相の“-着”をとるか。^{註4} →とる場合、持続段階あり。
- d. 時間副詞“正/正在”「ちょうど～している」をとるか。→とる場合、持続段階あり。
- e. 経験相の“-过”をとるか。→とる場合、終結点あり。
- f. a-eのいずれをもとり得ないか。→持続を表せるならば、持続段階あり。

まず、大きく五つの型に分類している。さらに、Vcを五つに、Vdを二つに下位分類している。分類の結果は次の表のようになる。^{註5}

表において「+」とあるのは当該の形を取り得ることを、「-」とあるのは当該の形を取り得ないことを示す。「I」は当該の形を取り得て、かつその形のときに動作の持続時間を表すことを示す。

「F」は当該の形を取り得て、かつその形のときに動作終了後の経過時間を表すことを示す。

このようなテストの結果から分類された各カテゴリは、次のような時間的意味を示す。

Va “无限结构” “無限構造”は、開始時点も終了時点も持たない事態を表す。Vb “前限结构” “前限構造”は開始時点は持つが終了時点は持たない事態である。Vc “双限结构” “両限構造”は開始時点と終了時点とをともに持つ事態である。Vd “后限结构” “後限構造”は終了時点は持つが開始時点を持たない事態を表す構造である。Ve “点结构” “点構造”は開始時点と終了時点が一点に収束している事態を示す。開始したと同時に終了するような「瞬間的」な事態を示す構造である。

おおまかに言うと、郭のVaとVb、それにVc1とVc2の一部がいわゆる「状態動詞」にあたる。そして、Vc3、Vc4のなかに「静態動詞」にあたる動詞がある。「行為動詞」とでも呼べるような動詞はVc5とVc4に分布していて、「結果動詞」（動作とそれによる対象の変化まで含意する動詞）とVdはほぼ一対一で対応する。Veはほぼ「変化動詞（瞬間動詞）」に対応する。

^{註4} 郭(1993)は、ここでの“着”を次の(a, b)における“着”に限定している。(c, d)のような“着”を排除している。(郭は(c, d)の“着”を「表示動作结束后留下的状态的固定的“着₃」と説明している。)

- (a) 吃着饭呢。「御飯を食べているところだ」
- (b) 门口坐着一个人。「玄関口に人が一人座っている」
- (c) 地下扔着一双鞋。「地面に靴が一足放り投げた」
- (d) 他剪着短发。「彼は短髪にしてある」

^{註5} 郭(1993)に挙げられている語例は、本文末尾に「付録B」として附してある。

		图示		-了	V时量	-着	在/正在	-过	例
Va	无限结构	→		-	-	-	-	-	是, 等于, 以为, 作为, 当
Vb	前限结构	·→		I*	I	-	-	-	认识, 知道, 熟悉, 当心
Vc	双限结构	·→·	1	I	I	-	-	+	相信, 喜欢, 懂, 姓, 重视
			2	I	I	+	-	+	有, 瞎, 信任, 爱护, 希望
			3	I,F*	I	+	-	+	坐, 住, 爱, 病, 依靠, 醉
			4	I,F	I	+	+	+	等, 端, 战斗, 敲, 工作
			5	I,F	I,F	+	+	+	吃, 烧, 搬, 看, 修改
Vd	后限结构	→·	1	F	F	+	+	+	产生, 提高, 消失, 增加
			2	F	F	-	+	+	离开, 灭亡, 消除, 实现
Ve	点结构	·		F	F	-	-	+	来, 忘, 看见, 收到, 开始

* Iは動作の持続時間を、Fは動作終了後の経過時間を意味することをしめす。

表 中国語動詞の過程構造 (郭(1993:413)より)

5. 彭(2000)の「姿勢動詞」

「静態動詞」のなかには、人や動物(有生物・活動体)の身体が空間内でどのような形態・様態でいるかを指ししめす動詞がふくまれている。これを仮に「姿勢動詞」とよぶ。

彭(2000)は、「姿勢動詞」に関する日中対照研究であるが、たとえば、「姿勢動詞」の次のような特性があげられている。

(a) その姿勢に移る動作を表すには、動詞に「方向補語」をつけたり、動作の方向をしめす前置詞句(「介詞+方位詞」)を前置する必要がある。

(22) 他正往下躺呢。「彼は横になろうとしているところだ」

(23) 我们都蹲下来。「私たちは皆うずくまった」

(彭 2000: 52)

(b) “-着”がついていなくても「姿勢の持続」を表すことができる。

(c) 「所在文^{註6}・存在文^{註7}」に用いることができる。

(24) 维维安静静地躺在那儿。(你一直对温柔妥协)

「維維は静かにそこに横たわっている」

(25) ……屋里坐着一个中年男人, …… (作家文摘 1997.10.3)

「部屋の中にはひとりの中年男性が座っていて……」

((24)は同: 61、(25)は同: 63)

^{註6} “名詞(動作主体)+V在+場所詞/名詞+方位詞”という構造で、《特定の主体がある場所にある様態で存在している》ことを表す構文。

^{註7} “場所詞/名詞+方位詞+V着+名詞(存在主体)”という構造で、《不特定の主体がある場所にある様態で存在している》ことを表す構文。

(d) “V到+場所詞／名詞+方位詞”で移動を表す。

(26) 母亲坐到小折床边，……（你一直对温柔妥协）

「母親は折ちゃんのベッドのそばへ座ると……」

(同: 65)

(e) “V(了)+時量詞(了)”で「姿勢の持続時間」を表す。

(27) 小折父亲在床上一躺就三年。（你一直对温柔妥协）

「折ちゃんのお父さんは一度ベッドに寝ると三年はそのままだ」

(同: 67)

ただし、この特性は「姿勢動詞」にはあてはまるものの、「静態動詞」全体にはあてはまらない。(a)は「姿勢動詞」以外にはあてはまらない。ただし、「姿勢動詞」以外にはこの形がとれないということではない。「姿勢動詞」以外では一般に“起来”は《起動》、“下来”は《継続》とよびうるような意味になる。ただし、個々の動詞によってイディオムの意味に変化している場合もある。「姿勢動詞」につく「方向補語」も、「方向補語」の一般的な意味として記述できるのかは興味ある問題である。

(b)は「変化動詞」や「結果動詞」と共通する性質である。「姿勢動詞」以外の「静態動詞」でも、“-了”をつけて《結果の持続》を表すことができる。(郭(1993)のVc3、Vc4、Vc5が“-了”で動作の開始と完了とを両方表せる。)

(c)の「所在文・存在文」のうち、「存在文」は、「静態動詞」のみでなく「状態動詞」、「変化動詞」、「行為動詞」、「結果動詞」がとることができる(李 1986:73-91)。つまり、ある動詞が「存在文」をとれるか否かは、動詞のアスペクトの意味とは非関与的でありそうである。所在文に関してはまだ調査不足である。

(d)は、「姿勢動詞」に限らず主体や客体の移動を含意する動詞であれば可能である。例えば、「来到人群之中」「人込みのなかへやって来る」、「搬到一楼」「一階へ運ぶ」、「抱到门口」「入口まで抱えていく」などの例がある。

(e)は、「姿勢動詞」のほかにVb、Vcの動詞で動作の持続時間を表すことができる。

6. 金子(2003)のモデルによる記述

うえで見えてきたような動詞のサブカテゴリのそれぞれの意味構造は、どのように記述できるであろうか。

その記述のための枠組みとして、金子(2003)による時間モデルを導入する。この意味記述モデルは、動詞の意味構造を時間構造の側面から記述するのに最適であると思われる。

まず、最も細かく動詞を分類している郭(1993)を記述の対象とし、郭が述べている意味特徴を金子モデルに機械的に置き換えてみる。

金子モデルでは、事態(状況)を「前状況」「表示状況」「後状況」の三段階に分ける。郭の言う「起点(inception)」を持つということを金子の言う「表示状況」が「前状況」に対して閉じている(#Vで表記)ということだとパラフレーズする。同様に、「終結点(finish)」を持つということも、「表示状況」が「後状況」に対して閉じている(V#)とする。「持続段階(duration)」を持

つということは、「表示状況」が「継続相」である (V(dur)) とみなす。

郭はテスト間に階層(強弱)を持たせていない。テストに合致する数の多少で、「持続段階」性の大小や「終結点」性の示している。ここでは、「継続段階」を持つか持たないか、「起点」「終結点」を持つか持たないか、といったデジタルな情報のみを取り出す。そうでないと、金子モデルに載せづらいという理由がある。

郭によると、Va, d, eは「起点」を持たないので、金子モデルでは「*V」となる。つまり、左に開いていることになる。Ve以外は「持続段階」を持つので「V(dur)」となり、Veだけが「V(min)」となる。Va, bは「終結点」を持たないので「V*」となる。

以上をまとめると、(28)のようになる。

- (28) Va: *V(dur)* ……「状態動詞」
Vb: #V(dur)* ……多くは「心理動詞」
Vc: #V(dur)# ……「活動動詞」
Vd: *V(dur)# ……「達成動詞」
Ve: *V(min)# ……「到達動詞」

所属する語例から見ると、VaはVendler分類でいうところのstates「状態動詞」にあたる。Vbは多くはいわゆる「心理動詞」であり、「状態動詞」の一種ではあろうが、時間構造からは規定が難しい。Vcは「典型的なactivities「活動動詞」である。Vdはaccomplishments「達成動詞」で、Veはachievements「到達動詞」である。

金子による記述と大きな齟齬を来すのはVbとVd、Veであろう。

金子は「感じる、思う、見える、聞こえる」といったいわゆる「感覚動詞」や、「愛する、信じる、嫌う」といったいわゆる「心理動詞」をそれぞれ「*V(dur)#」「*V(dur(act))#」のように表記している。⁴⁸「表示状況」の左に開いていて右に閉じているのである。いっぽう、郭の記述を機械的に金子モデルに移すと「#V(dur)*」となり、ちょうど金子の記述と鏡像を成す。つまり、「表示状況」の左に閉じていて右には開いている。

Vdについても同様のことが言える。金子は「消す、こわす、曲げる」といった「達成動詞」⁴⁹を「#V(dur(act))#eff」のように記述している。つまり、「表示状況」の左右に閉じている訳であるが、郭の記述を機械的に金子モデルに移したものでは「*V(dur)#」となり、左に開いていることになる。

さらにVeについても、金子は「瞬間相」の動詞を「#V(min)#」「#V(min(act))#eff」「#V(min)*res」等と記述している。つまり、「表示状況」の左には閉じているのである。しかし、郭によるとVeは「起点」を持たないので、(28)のように「表示状況」の左に開いた形になる。

この違いはなぜ生じるのか。おそらく、郭のテストに用いられた基準によるのだろう。郭のテストに用いられた基準(21)の一部を次に再掲する。

- (29)a. 完了相の“了”をとるか。とる場合、(i)動作がすでに始まっていることを表すか、(ii) 終了したことを表すか。→(i)なら起点あり。(ii)なら終結点あり。
b. 後ろに時量詞句(時量目的語)をとるか。とる場合、(i)動作の持続時間を表すか、(ii) 動作終了後の経過時間を表すか。→(i)なら起点と持続段階あり。(ii)なら終結点あり。

つまり、(29a, b)の基準でともに(ii)を示すとその動詞は「起点」を持たないことになる。実際、

⁴⁸ ここでの金子モデルの表記は、金子(2003)、pp. 125-134の「日本語語彙アスペクト類型一覧」によっている。

⁴⁹ 金子は「継続相」という用語を用いている。

Vd, eは(29a, b)の基準に対してともに(ii)をとるので、「起点」を持たないことになっている。

しかし、金子は日本語動詞の記述に際して「開始時点」を持つかどうかの基準を独立に立てている。金子(2003: 100)では「基準a」として「表示状況の開始」を持つか否かを測る基準を立てている。それによると、「イマVル」という形において、「この形を持たない」場合は「恒常相 (**V...)」であり、この形で「表示状況の成立」を表すときは「左開 (*V...)」であり、この形で「表示状況開始前を表示」するときは「左閉 (#V...)」であるとしている。

このような基準を郭は示していない。だから、Vd, eに関して「起点」を持たない、つまり「表示状況」の左に開いているという記述をしまっているのだろう。

Vbに関しては、中国語の“知道”や“认识”は、日本語の「知る」「分かる」に対応するのではなくて、むしろ「知っている」や「分かっている」に対応する状態性の高い動詞だとすることで説明できるのではないか。

7. 「静態動詞」について

中国語研究の先行文献では、“坐”や“等”などの「静態動詞」と呼ばれるカテゴリは、「静態的な動作」を表すもので、あくまで「活動動詞」の下位分類という捉え方をされている。

「静態動詞」を動詞の下位分類の一類として定める根拠は、今のところ次の通りである。

- (a) 「静態動詞+“着”」の意味が、「活動動詞+“着”」の意味と異なり、《結果の持続》とでもとらえるべきであること。(日本語のアスペクト論等を参照。金田一(1950)は、「立つ」を「瞬間動詞」としている。ただし、「笑う」は「継続動詞」。)
- (b) 「活動動詞」や「達成動詞」と異なり、はだかの動詞そのものの意味は動きではなく状態を表していること。しかし、これは「静態動詞」のなかの「姿勢動詞」のみに該当する。

馬(1981)では、“動詞+時量詞”の意味が《動作終了からの経過時間》を表せない、ということが「静態動詞 (Vb1)」をそのほかの動詞類から分ける基準であった。しかし、郭(1993)では、その基準は必要条件でしかなく、十分条件ではない。“相信”「信じる」や“爱护”「愛護する」といった動詞も同じ基準を満たすが、ふつうこれらは「静態動詞」とは呼ばれない。郭の分類では、「静態動詞」(あるいは「姿勢動詞」)だけが所属する類というのは存在しない。したがって、「静態動詞」に固有の意味構造を記述するのは、今のところ難しい。今後の課題としたい。

参考文献

- 荒川清秀(1981)「中国語動詞にみられるいくつかのカテゴリー」『愛知大学文学論叢』65, pp. 1-25.
- 金子亨(1995, 2003³)『言語の時間表現』ひつじ書房
- 金田一春彦(1950)「国語動詞の一分類」『言語研究』15 (金田一編(1976)『日本語動詞のアスペクト』むぎ書房, pp. 5-26.所収。)
- 郭锐(1993)〈汉语动词的过程结构〉《中国语文》6, pp. 410-419.
- 李临定(1986)《现代汉语句型》商务印书馆.
- 马庆株(1981)〈时量宾语和动词的类〉《中国语文》2, pp. 86-90.
- 彭广陆(2000)「日中両国語における姿勢動詞の比較」『日中言語対照研究論集』2, pp. 47-71.

付録A

马(1981)に挙げられている語例

Va: 死「死ぬ」、伤「負傷する」、断「断つ」、熄「消す」、完「終わる」、了「終える」、丢「なくす」、来「来る」、去「行く」、回「戻る」、到「着く」、坍「崩れる」、懂「分かる」、中「あたる」、入(入党)「入る(入党する)」、立(立春)「立つ(立春になる)」、散(散会)「解散する(閉会する)」、免(免职)「免ずる(免職する)」、溜(溜走)「逃げる(逃げ去る)」、熟(熟了一锅饭)「熟する(御飯ができた)」、败「負ける」、并(合并)「合わせる(合併する)」、落(落价)「下がる(値が下がる)」、结(结婚)「結ぶ(結婚する)」、没「沈む」、垮「崩れる」、忌「忌む」、知道「知っている」、明白「分かる」、原谅「許す」、合并「合併する」、出现「出現する」、成立「成立する」、批准「許可する」、出嫁「嫁ぐ」、投降「投稿する」、提拔「抜擢する」、结束「終了する」

看见「見える」、听见「聞こえる」、遇见「会う」、解开「解く」、离开「離れる」、分开「分ける」、办成「成し遂げる」、画成「描く」、记住「覚える」、提出「提出する」、修好「直る」、学会「マスターする」、钓着「釣れる」、吃饱「充分食べる」、叫醒「起こす」、写完「書き終える」、干完「し終える」、说明白「はっきりと言う」、打扫干净「きれいに掃除する」、起来「起きる」、上来「上がってくる」、进来「入ってくる」、出来「出てくる」、回来「帰ってくる」、上去「上がっていく」、下去「降りていく」、出去「出ていく」、进出「入っていく」、回去「帰っていく」

Vb1: 等「待つ」、盼「待ち望む」、坐「座る」、站「立つ」、躺「横になる」、睡「寝る」、歇「休む」、病「病気になる」、哭「泣く」、笑「笑う」、恨「恨む」、忍「我慢する」、闷「閉じこもる」、管「取り締まる」、躲「逃げる」、避「避ける」、防「防ぐ」、当(当班长)「担当する(班長になる)」、该(该他十块钱)「借金する(彼に10元借りがある)」、想「思う」、盯「見つめる」、玩儿「遊ぶ」、追「追う」、跟「ついていく」、上(上学)「通う(学校に通う)」、占「占める」、使「使う」、用「用いる」、住(住平房)「住む(平屋に住む)」、擦「握る」、握「握る」、捂「手で覆う」、搀「手を貸す」、拄「つく」、扶「寄りかかる」、搂「抱く」、抱「抱く」、挺「突き出す」、吊「吊るす」、悬「掛ける」、找「探す」、养(养鸡)「育てる(鶏を育てる)」、胀「腹が張る」、惯(惯孩子)「甘やかす(子供を甘やかす)」、攒(攒钱)「溜める(お金をためる)」、陪「お供する」、轮「番が回ってくる」、蒙「被る」、转「回る」、淹「水浸しになる」、抬「あげる」、举(举手)「挙げる(手を挙げる)」、端「持つ」、押「押さえる」、帮「手伝う」

呼哧「ふうふう言う」、咕嘟「ぐらぐら言う」、扑腾「ドキドキする」、嘟囔「ぶつぶつ言う」、琢磨「吟味する」、寻思「考える」、寻觅「探し求める」、端相「念入りに眺める」、打量「目測する」、哆嗦「震える」、抽搭「すすり泣く」、忙活「忙しくてばたばたする」、照顾「面倒を見る」、流行「はやる」、陪伴「お供する」、湊合「歩み寄る」、就合「折り合う」、培养「養成する」、注意「注意する」、担心「心配する」、心疼「心が痛む」、冤枉「濡衣を着せる」、使唤「言い付ける」、耽误「手間どる」、重复「重複する」、坚持「堅持する」、磨叨「くどくど言う」、耽搁「遅れる」、叨唠「くどくど言う」、操持「切り回す」、担任「担当する」、张罗「世話をやく」

Vb21: 看「見る」、听「聞く」、说「話す」、学「学ぶ」、问「訊く」、教「教える」、叫「叫ぶ」、改「改める」、做「やる」、干「する」、造「作る」、查「調べる」、吵「言い争

う, 骂「罵る」, 打「打つ」, 揍「殴る」, 偷「盗む」, 抢「奪う」, 挖「掘る」, 抽「吸う」, 演「演じる」, 洗「洗う」, 刷「磨く」, 涮「濯ぐ」, 洒「撒く」, 扫「掃く」, 擦「拭く」, 浇「(水を)やる」, 摘「摘む」, 拾「拾う」, 修「直す」, 翻「ひっくり返す」, 拉「引く」, 拽「引っ張る」, 推「押す」, 剪「切る」, 裁「裁つ」, 斟「注ぐ」, 舀「汲む」, 抹「塗る」, 吃「食べる」, 喝「飲む」, 尝「味わう」, 夸「誉める」, 喊「呼ぶ」, 抹「拭く」, 弄「やる」, 凿「穴をあける」, 花「費やす」, 削「削る」, 要「要る」, 求「求める」, 买「買う」

商量「相談する」, 告诉「教える」, 分析「分析する」, 比较「比較する」, 研究「研究する」, 介绍「紹介する」, 举行「行う」, 批评「批判する」, 表扬「誉める」, 答应「答える」, 安慰「慰める」, 广播「放送する」, 应付「対処する」, 咳嗽「咳をする」, 收拾「片付ける」, 叨登「繰り言を言う」, 翻腾「引っ掻き回す」, 抖落「叩き落とす」, 打扫「掃除する」, 扒拉「掻き分ける」

敲「敲く」, 碰「ぶつかる」, 摔「投げ付ける」, 砍「切る」, 砸「突く」, 扔「投げる」, 投「投げる」, 閃「光る」, 跳「飛ぶ」, 蹦「跳ねる」, 踢「蹴る」, 射「射る」

Vb22: 挂「掛ける」, 摆「並べる」, 搁「置く」, 插「差す」, 贴「貼る」, 盛「盛る」, 装「積み込む」, 腌「塩漬けにする」, 铺「敷く」, 锁「鍵をかける」, 开「開く」, 关「閉める」, 包「包む」, 捆「くくる」, 绑「くくりつける」, 填「埋める」, 盖「覆い被せる」, 种「植える」, 栽「植える」, 塞「塞ぐ」, 挤「押し合う」, 踩「踏む」, 拿「取る」, 穿「着る」, 戴「かぶる」, 披「羽織る」, 梳「梳く」, 扎「巻き付ける」, 系「結ぶ」, 烫(发)「(パーマを)かける」, 镶(牙)「(入れ歯を)はめる」, 写「書く」, 印「印刷する」, 叠「畳む」, 点(炉子)「(ストーブに)点火する」, 缝「縫う」, 存「預ける」, 支(支上一根木头)「支える(一本の木で支える)」, 租「レンタルする」, 借赁「賃借する」

付録B

郭(1993)に挙げられている語例

Va: “无限结构”……条件fをみたす動詞は、持続段階のみをもつ。

是「～である」, 等于「～と等しい」, 以为「～とみなす」, 作为「～とする」, 像「～と似ている」, 舍得「惜しくない」, 能够「～できる」, 敢「思いきって～する」, 企图「企てる」, 记得「覚えている」, 需要「要る」, 值得「～に見合う」, 总计「合計する」, 显得「～のように見える」, 在「いる」

Vb: “前限结构”……条件a(i)、b(i)をみたす動詞は、起点と持続段階をもつ。

认识「知っている」, 认得「知っている」, 知道「知っている」, 晓得「知っている」, 熟悉I「よく知っている」, 了解(I)「理解している」, 当心「気をつける」

Vc: “双限结构”……少なくとも、条件a(i)、b(i)、eをみたす動詞は、起点、持続段階、終結点をもつ。

Vcl: 放心「安心する」, 害怕「怖がる」, 懂「わかる」, 忽视「無視する」, 讲究「重んじる」, 明白「わかる」, 轻视「軽視する」, 顺从「服従する」, 误解「誤解する」, 喜欢

- 「好む」, 相信「信じる」, 姓「～を姓とする」, 拥护「擁護する」, 准许「許可する」, 重视「重視する」
- Vc2: 爱护「大事に守る」, 保持「維持する」, 保留「保存する、保留する」, 打算「～するつもりである」, 跟随「付き従う」, 留心「気をつける」, 盼望「待ちこがれる」, 佩服「敬服する」, 热爱「心から愛する」, 体贴「細かく配慮する」, 信任「信用する」, 希望「願う」, 依赖「頼る」, 指望「当てにする」
- Vc3: 爱「愛する」, 包围「囲む」, 病「病む」, 承担「引き受ける」, 担任「担当する」, 惦记「気に掛ける」, 盯「見つめる」, 蹲「しゃがむ」, 躲「避ける」, 关心「気遣う」, 跪「ひざまづく」, 恨「憎む」, 后悔「悔やむ」, 坚持「堅持する」, 流露「露になる」, 伸「のばす」, 率领「率いる」, 限制「制限する」, 醉「酔う」, 坐「座る」, 住「住む」
- Vc4: 表演「演じる」, 猜「推量する」, 担「かつぐ」, 等「待つ」, 端「両手でもつ」, 进行「進む」, 工作「働く」, 哭「泣く」, 劳动「労働する」, 恋爱「恋愛する」, 敲「たたく」, 体会「会得する」, 想「考える」, 响「響く」, 踢「蹴る」, 舔「舐める」, 笑「笑う」, 追「追う」, 战斗「戦う」, 找「探す」
- Vc5: 搬「運ぶ」, 撤「取り除く」, 吃「食べる」, 逮捕「逮捕する」, 掉「落とす」, 看「見る」, 改革「改革する」, 回答「答える」, 锯「のこぎりを挽く」, 砍「切る」, 生产「生産する」, 添「加える」, 烧「燃やす」, 设计「設計する」, 生「生む」, 撕「裂く」, 买「買う」, 卖「売る」, 移动「移動する」, 写「書く」, 洗「洗う」, 摘「摘む」, 修「なおす」
- Vd: “后限结构” ……条件a(ii)、b(ii)、d、eをみたす動詞は、持続段階と終結点をもつ。
- Vd1: 变化「変わる」, 产生「産み出す」, 出现「現れる」, 打破「たたき壊す」, 改「変える」, 改变「変わる」, 改正「改正する」, 恢复「回復する」, 减少「減少する」, 缩小「縮む」, 提高「上げる」, 下降「降がる」, 消失「消える」, 形成「形成する」, 增加「ふえる」
- Vd2: 放松「ゆるめる」, 建立「建てる」, 解放「解放する」, 离开「離れる」, 灭亡「滅ぼす」, 丧失「なくす」, 实现「実現する」, 消除「取り除く」, 削弱「力が弱まる」
- Ve “点结构” ……条件a(ii)、b(ii)、eをみたす動詞は、起点＝終結点である。
- 来「来る」, 毕业「卒業する」, 出来「出てくる」, 到「着く」, 达到「到達する」, 丢「なくす」, 发明「発明する」, 获得「獲得する」, 结婚「結婚する」, 开始「始める」, 断「断つ」, 抛弃「捨てる」, 碰见「出くわす」, 取得「得る」, 失败「失敗する」, 死「死ぬ」, 损失「損をする」, 完成「完成する」, 忘「忘れる」, 牺牲「犠牲になる」